



惑してゐる。

東 北 方 面

抄らぬ模範街路の舗装

仙臺蕉芭の辻から名掛町までの模範街路築造工事は、晝夜兼行で施工を急いでゐることば前號に於て報道したが、名掛町地内舗装工事は如何に急いでも十一月中旬迄ばかりゝるものと見られてゐる。この路床の大半は基礎工事を終つて砂石の沈壓に取掛つてゐるが、兩側の溝渠が未だ完成せぬ爲に思ふやう工事が進捗せず沿道住民は甚だ當

地 方 通 信

東 海 方 面

豊橋市の道路改修陳情

豊橋市岩崎町坂尻三番地から字新谷岩田小學校分教場に至る延長三百五十間の道路は、曲折甚だしく交通上不便であるためこれに要する擴張用地を無償提供するから幅員三間以上の直線道路に改修してほしいと沿道住民から市當局へ陳情書を提出した。

岡崎市道路改修問題

岡崎市八幡町民は工事費中に一萬圓を寄附するから同町から本町通りへ貫通する道路を新設して貰ひたいと市當局へ申出た。岡崎市内で目下道路改修の必要ありと問題になつてゐる線は、村木町から國道迄一直線に道を造ることゝ、八幡町を一直線に縣道まで貫くことと、岡崎天満宮前から徳王神社の東を通り國道に達するものと及前記のものとは都合四線で、其の内いま陳情した八幡町の改修線は工費寄附等の申込があるだけに稍計畫が具體化してゐるが、壹萬圓位の寄附では工費残額の補充も多額を要するので、市では工事の速行を躊躇してゐる。

豊橋市東部郊外へ

道路新設近し

豊橋市東部方面の發展策として、東田小學校北手から市外下川村牛川へ通する新道

路の開鑿は、地元民等の熱心な盡方に依つて、既に市會に於て決議されてゐるので、市土木課では關係土地家屋所有者の諒解を求めて、用地買収又は地上障礙物件を移轉する様夫々承諾書を取纏て居り近く着工の運びとなるが、同道路は市の東部から市外山間部の農村へ通ずる幹線道路の事として頗る重要視されて居る。牛川は第二中學校が建設せられて以來市の郊外中、將來最も重きをなす地點と見られてゐるにも拘らず従來比較的交通に恵まれてゐなかつたが此の同道路の開通に依つて、面目を一新し異數の發展をするのも遅いことではあるまい。

縣道改修路線に一閃着

愛知縣南設樂郡新城町から西加茂郡舉母町に通ずる縣道舉母街道の改修は、作手村長者平までは第三期工事で竣工し、目下第四期工事として長者平から菅沼に至る區間を施行中であるが、此の區間の内川尻區を

通過するに當つて、本縣では川尻部落を貫通する線と部落の北部を通過するものと比較線を設計し調査の結果、北部線を採用することに決定して、工事を進めたので川尻部落民は之に反對し數日來部内に於て住民等は徹宵協議を重ね縣へ設計變更方を迫るべく決議し、さては激昂して不穩の舉にも出まじき氣勢も見えたので、峰田作手村長は大いに憂慮し、百方區民を説得して其の諒解を求むるに努めたが、川尻區民の大部分は北部へ縣道を新設されては、其の恩恵に浴する所も尠いとて強硬に反對したが、既に縣に於て決定され工事も着手した今日如何とも致し難いので、切なる斡旋調停に依つて漸く平穩に歸した模様である

新設道路に鐵條網

愛知縣寶飯郡蒲郡町では大正十四年度に於て同町大宇府相模田から丸山を通過して三谷町に通ずる道路を新設したが、該道路

には何故か關係地主の一人である臨港線株式會社の手で鐵條網を張り交通を止めて居り工事落成検査未了のまゝ一箇年を経過してゐるので、關係地主は拾置かれず中川蒲郡町長にその解決方を追つたので、同町長は町會に諮つて臨港線株式會社と種々折衝したが、結局替地として新設道路附近の廢道約四百坪を無償提供すれば鐵條網を撤去して御希望に従ふとの回答を得たが、是れを聞知した他の關係地主は大地主なる故に會社の該廢道を無償提供するならば、我々にも按分して無償で拂下すべきであらうと主張し双方譲らず、爲に中川町長は板ばさみとなつて苦しい立場にあり、解決の結果によつては二十年來の蒲郡町の土木内規一部負擔の風習を破壊することとなり、又町部議員と山間部議員との融和を缺き延いては中川町長は引責辭職の止むなきに至るであらうと尠からず注目されてゐる。

近畿方面

神戸第一期線道路舗装

神戸市都市計畫部では、都市計畫法に依る道路の新設及舗装工事に對して、大正十七八年頃から國庫補助されるものと見越して第一期線(市電第二期線)の道路全部に亘つて、舗装工事を施すべく計劃して居る。

失業労働者を救ふ土木事業

政府が昨年度に施行を命じた六大都市の失業救済土木事業は可なり好成绩を見せ、これがため多數の失業労働者を救済し得たので、本年度も亦これと同様の事業を計畫して近く開議に附さるゝことになつてゐる。これに就いては政府から未だ何等通牒は發してないが、大阪市では事業そのものに十分の経験があり、何時政府から通牒に接し

てもまごつかないだけの準備をしてゐる。

試みに大阪市の昨年度の事業経過を見るに事業費は貳百萬圓、内七拾萬圓を勞力費として、その半分の參拾五萬圓を國庫から仰ぐことになつて、十一月二十五日から事業に着手し、新市方面の下水改良、道路新設工事に着手し、既に九分通り完成して昨今尙ほ一部の殘工事を行つてゐる。勿論此事業は市だけでなく府所管の河川改修などへも相當の勞力を振向け本年九月末までに要した延人員二十九萬人に上つてゐると云ふ状態である。又勞力統計に依ると最初の一週間に失業登録を受けた者が三千七百人、工事中の最高人員が一日千五百人だつたが、本年は昨年より幾分景氣もなほつたので、失業者も少い模様であるから或は手不足を見るかも知れないと云はれてゐる。

中國方面

在郷軍人分會員の道路修理

廣島縣第二回道路共進會に参加した比婆郡山内西村では、同村を東西に貫通してゐる府縣道延長三千九百六十九米を出品したが之れが修繕手入に關しては一切在郷軍人分會に一任して、第一回の修繕は過日終了した、近日中に現在會員百十三名を七組に分け出夫第二回の修繕をする筈であるが、各區の修繕の成績に依つて、一等拾圓、二等八圓、三等六圓、四等五圓、五等四圓、六等三圓、七等二圓の賞金を付與して道路の完全を期するとのことである。

出品道路修理

廣島縣第二回道路共進會に参加した山縣郡吉坂村及都谷村は何れも十一月五日午前

六時から一齊に、道路修繕工事に着手し兩村共一戸一名又は二名の奉仕的出夫して鐵十能草削り等を携帶し、各員部署を定めて路面の整理及修繕土砂の運搬均整又は溝浚へなど熱心に従事し、薄暮完成したが吉坂村は殊に道路網の完成せる町村であつて、昨年第一回共進會に烏帽子區の一部が、三等賞の榮冠を得た程であつて、本年は會則の改正と共に農繁期にも拘らず、全村加入することにした。

吳、廣島間國道改修

廣島縣土木課では明年度豫算に吳、廣島間國道改修費に參拾貳萬六千圓を計上する見込で居たが、財源の關係上これを半減して拾六萬圓を計上し豫算を要求することに決定した、従つて十八年の完成を一ヶ年繰延べることになる模様である。併し吳、廣島間の國道改修は廣島商業會議所と吳商業會議所とが、路線の選定に就いて希望を異

にしてゐるため、縣土木課で細密な再調査を行つた上、山間部海岸部の何れを採るかの比較考査に向相當の日子を要するから到底本年末の通常縣會の豫算要求の附議は六ヶ敷からうと觀側されてゐる。

九州方面

門司市の土木事業

門司市の十六年度の新規土木事業の一として、大里町地内北及南兩榮町線道路の幅員擴張及改修工事があるが、右道路は府縣道であるため工事費負擔關係に付て、縣市兩當局間に豫算編成上屢々協議されてゐたが門司市土木課長は今回更に縣當局と慎重協議の結果、二年或は三年の繼續事業となるらしい。一方十五年度工事と決定して居り今尙工事未着手の榮町線新町棧橋通り横町等の舗裝工事に付ては市土木課で既に設計

は終了して居るが沿道居住者の工事費一部寄附問題が全部解決してゐない爲今日に及んでゐるのであるが、然しこれは近日中に解決を見ることが出来るので、解決次第に本年度内に工事を完成する豫定である。又縣道である棧橋通りの舗裝工事に就ても市當局が縣及沿道居住者の中に立つて寄附問題の解決促進に努めてゐるから、これ亦解決と同時に縣で工事に着手する模様であるが右工事はアスファルト舗裝とするので、竣工の曉は附近道路の面目を一新するものと見られてゐる。

